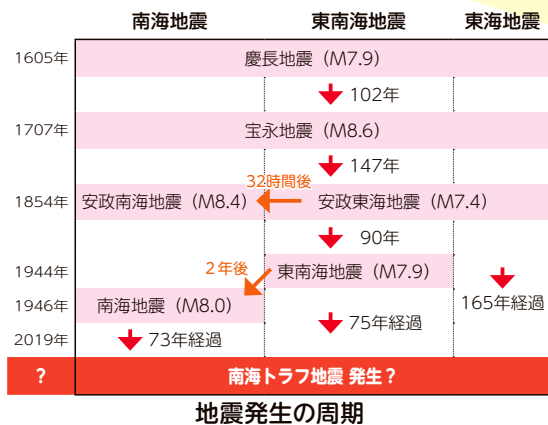


東日本大震災から8年 ー大切なのは、すぐ逃げることー

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から、今年で 8 年になります。死者 15,897 人、行方不明者 2,534 人の人的被害（平成 30 年 12 月 10 日現在）が発生し、多くのかたが津波により犠牲となりました。鳥羽市でも、南海トラフ地震の発生により、東日本大震災と同じような状況が起こると予測されています。

南海トラフ地震について

過去の地震の歴史を見てみると、100年から150年の周期で大きな地震が起こっています。安政東海地震からは160年以上、昭和に起こった南海地震・東南海地震からも70年以上経過していることから、東海、東南海、南海の3つの地域で連動して同時に「南海トラフ地震」として発生する確率が高いといわれています。



南海トラフとは、日本列島が位置する大陸のプレートの下に、海洋プレートのフィリピン海プレートが南側から年間数cmの割合で沈み込んでいる場所です。

すぐ逃げることの大切さ

県が平成26年3月に発表した南海トラフ地震の被害想定調査結果では、地震発生後すぐに避難をすることで、犠牲者を減らすことができるという結果が出ています。津波から命を守るために、東日本大震災から得られた「すぐ逃げる」という教訓を忘れることなく、一人一人が日頃から意識を持って備えておくことが命を救うことにつながります。

| | 地震の規模 | |
|-------------------|---------|----------|
| | 過去最大クラス | 理論上最大クラス |
| 早期避難率が低い場合 | 約 900 人 | 約 900 人 |
| 早期避難率が高く呼びかけが伴う場合 | 約 200 人 | 約 500 人 |
| 地震発生直後に全員が避難した場合 | 約 100 人 | 約 500 人 |

南海トラフ地震における鳥羽市での死者数の想定

総務課防災危機管理室 ☎ (25) 1118

一人一人が備えてこ！

防災力UP！鳥羽

vol.69

最近の相談傾向
簡単に高収入が得られるとうたう情報商材のトラブルが増えています。情報商材とは、インターネットで販売している「お金のもつけ方」や「異性にモテる方法」など、さまざまなお金やノウハウを提供すると称するもので、冊子やDVDの送付・PDFなどのデータをダウンロードさせる方法により提供されます。カリスマをかたる人物のSNSを通じての勧誘が多く、購入するまで内容が確認できないため、宣伝の言葉だけで判断し、購入することになります。そのため、「思っていた内容とは違う」とか、「大した情報を得られなかった」という相談が相次いで寄せられています。また、業者と連絡が取れなくなる場合もあり、被害額が数十万円に及ぶことも少なくありません。

消費者トラブルにご用心!

vol.31

消費生活相談

開設日時：月・水・金 午前9時～午後4時

場所：市民文化会館3階

農水商工課商工労政係 ☎ (25) 1156
鳥羽市消費生活相談室 ☎ (25) 1241

日頃から断る心構えを
曖昧な断り方では相手にきちんと伝わらず、契約の口実を与えてしまいます。はっきりとした言葉や態度を心掛け、被害に遭わないように日頃から気を付けてください。少しでも「おかしい」と思ったら、一人で判断や即決をせずに周りのかたに相談してください。一度被害に遭うと、再度狙われる可能性が高くなります。
お困りの際は、相談室まで連絡してください。

年度初めに多発するトラブル
進学や就職など新しい生活を迎えるにあたり、生活用品などを購入する機会が増え、消費が高まります。衝動買いをせず、本当に必要なのかよく考えてから購入するようにしましょう。また、引越しをするかたも多い時期ですが、昨年は業者が見つからない、高額な料金を請求されるなどのトラブルが続出しました。今年も同様の懸念があるため、時期を問わず、複数の業者から見積もりを取るなど納得のいく契約を結んでください。